

1G(物理化学系)										
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員					
1	9:00~9:30	中田 拳太	石井 佳誉	The development of solid-state NMR measurement for non-labeled samples (同位体非標識試料の固体NMR 測定法の開発)	○ 石井 佳誉	林 宣宏	赤間 啓之			
2	9:30~10:00	柏原 功典	石井 佳誉	NMR 測定と量子化学計算による加硫天然ゴムの構造解析と固体NMR測定と量子化学計算によるポラスカーボンの構造モデリング	○ 石井 佳誉	林 宣宏	藤井 正明			
3	10:00~10:30	藤田 健太郎	石井 佳誉	Detection of structural changes by addingEGCG to Aβ (1-42) fibrils and oligomersusing solid-state NMR (固体NMRを用いたEGCG添加後Aβ (1-42)線維およびオリゴマーの構造変化の検出)	○ 石井 佳誉	田口 英樹	村上 聡			
4	10:30~11:00	WEI Zixuan	石井 佳誉	Alpha-synuclein Aggregation Kinetics and Structural Insight in the Presence of β-amyloid Fibrils	○ 石井 佳誉	田口 英樹	村上 聡			
5	11:00~11:30	岸本 航	村上 聡	リポ蛋白質輸送体LoLA-リポ蛋白質Pal複合体の結晶構造解析	○ 村上 聡	久堀 徹	若林 憲一			
6	11:30~12:00	田邊 真悟	村上 聡	大腸菌多刺排出トランスポーターMdtBCの結晶化	○ 村上 聡	石井 佳誉	久堀 徹			

お昼休み

7	13:30~14:00	安江 卓馬	村上 聡	リポ蛋白質輸送体LoCDE の結晶化	○ 村上 聡	石井 佳誉	若林 憲一			
8	14:00~14:40	宮澤 佳希	北尾 彰朗	Evaluation of binding affinity for protein-protein complexes by Parallel Cascade Selection Molecular Dynamics/Markov State Model (Parallel Cascade Selection MolecularDynamics/Markov State Model によるタンパク質-タンパク質複合体の結合親和性評価)	○ 北尾 彰朗	伊藤 武彦	山田 拓司	石井 佳誉	村上 聡	
9	14:40~15:10	石井 裕太	伊藤 武彦	ロングリードを活用したゲノムアセンブリ用新規スキャフォールドングツールの開発	○ 伊藤 武彦	山田 拓司	本郷 裕一			
10	15:10~15:50	大内 俊	伊藤 武彦	Hi-C 法を用いた染色体レベルのゲノムアセンブルにおけるScaffolding およびPhasing 手法の開発	○ 伊藤 武彦	山田 拓司	二階堂 雅人	本郷 裕一	立花 和則	
11	15:50~16:20	高橋 知也	山田 拓司	マルチオミクス解析を用いた循環器疾患の原因となりうる腸内細菌・腸内細菌関連物質の探索	○ 山田 拓司	伊藤 武彦	本郷 裕一			
12	16:20~17:00	FELIX SALIM	山田 拓司	リンチ症候群患者における大腸がん発症とヒト腸内細菌群集の関連解析	○ 山田 拓司	伊藤 武彦	北尾 彰朗	本郷 裕一	二階堂 雅人	

2G(有機化学系) 発表なし

3G(生物化学系)

演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員					
13	9:00~9:40	福土 結香	久堀 徹 若林 憲一	葉緑体内における迅速応答型レドックス制御機構の解明に向けて	○ 久堀 徹	若林 憲一	増田 真二	田口 英樹	田中 寛	下嶋 美恵
14	9:40~10:10	佐南谷 瑞	一瀬 宏	臨床検体におけるプテリジン化合物の分析方法の確立	○ 一瀬 宏	長田 俊哉	加藤 明			
15	10:10~10:40	阪本 吉彬	一瀬 宏	ネオプテリンのバイオマーカーとしての有用性の検討と生合成機構の解析	○ 一瀬 宏	長田 俊哉	田川 陽一			
16	10:40~11:10	杉山 菜奈子	一瀬 宏	チロシン水酸化酵素の分解制御と不溶性凝集体形成機構の解析	○ 一瀬 宏	林 宣宏	中戸 川仁			
17	11:10~11:40	宮本 詩織	一瀬 宏	GTP cyclohydrolase I 遺伝子の転写調節機構の解析	○ 一瀬 宏	林 宣宏	山口 雄輝			
18	11:40~12:10	笹原 優希	山口 雄輝	抗リウマチ薬ブシラミンの作用機序の解析	○ 山口 雄輝	徳永 万喜洋	立花 和則			

お昼休み

19	13:30~14:00	小島 菜	田川 陽一	マイクロ流体デバイスを用いた細菌数制御による腸内細菌と腸管組織の共培養	○ 田川 陽一	山本 直之	和地 正明			
20	14:00~14:30	青木 陸登	岩崎 博史	BRCA2 ホモログを持つ一倍体真核生物Naganishia lukefaciensにおけるDNA鎖交換反応の試験管内再構成	○ 岩崎 博史	中戸 川仁	田口 英樹			
21	14:30~15:10	山崎 海斗	岩崎 博史	分裂酵母Rad51 リコンビナーゼによるDNA 鎖交換反応の相同性認識機構	○ 岩崎 博史	中戸 川仁	田口 英樹	藤田 尚信	加納 ふみ	
22	15:10~15:40	中澤 昂太	田中 寛 今村 壮輔	大腸菌における解糖系・糖新生系間の切替機構の解明	○ 田中 寛	今村 壮輔	和地 正明	田口 英樹		
23	15:40~16:10	関山 遼	八波 利恵	超好熱性細菌 Thermotoga maritima 由来GH10キシラーゼXynTB変異体の酵素学的性質	○ 八波 利恵	和地 正明	福居 俊昭	中村 聡		
24	16:10~16:40	追田 直樹	八波 利恵	Paenibacillus sp. H2C 株由来アセチルキシラーゼAxeA および AxeB の大腸菌における発現と組換え酵素の性質検討	○ 八波 利恵	平沢 敬	三重 正和	中村 聡		
25	16:40~17:10	中島 諒子	八波 利恵	高度好塩性古細菌 Haloarcula japonica 由来枝作り酵素 MaIA の性質検討	○ 八波 利恵	蒲池 利章	三重 正和	中村 聡		

4G(分子生物系)

演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員					
26	9:00~9:30	国島 拓	立花 和則	エダアシクラゲGPCR の解析と新規ペプチドの探索	○ 立花 和則	伊藤 武彦	村上 聡			
27	9:30~10:00	辻高 真由子	立花 和則	エダアシクラゲにおけるメデューサ形成の決定機構	○ 立花 和則	川上 厚志	白木 伸明			
28	10:40~11:10	安藤 萌美	立花 和則	エダアシクラゲの卵形成から産卵までの光制御	○ 立花 和則	田中 幹子	増田 真二			
29	11:10~11:40	坪井 絵里子	田中 幹子	エミュー胚の前肢の退化メカニズムの解明	○ 田中 幹子	鈴木 崇之	川上 厚志			
30	11:40~12:10	秦 元気	田中 幹子	真骨魚類の腹鰭形成位置を多様にした分子機構へのアプローチ	○ 田中 幹子	二階堂 雅人	川上 厚志			

お昼休み

31	13:30~14:10	小宮 広凜	川上 厚志	ゼブラフィッシュの発生、成長、再生を通じた間葉細胞の系譜解析	○ 川上 厚志	桑 昭苑	白木 伸明	田中 幹子	立花 和則	
32	14:10~14:40	藤谷 季樹	白木 伸明 桑 昭苑	ヒトIPS 細胞由来膵臓β 細胞の機能成熟化に関する研究	○ 白木 伸明	桑 昭苑	川上 厚志	山口 雄輝		
33	14:40~15:10	滝波 那拓	白木 伸明 桑 昭苑	膵島移植に用いるための免疫隔離デバイスの評価	○ 白木 伸明	桑 昭苑	立花 和則	丸山 厚		
34	15:10~15:40	芝江 椋葵	桑 昭苑 白木 伸明	マウス膵α細胞のモノアミンによる膵島機能の制御の解析	○ 桑 昭苑	白木 伸明	廣田 順二	鈴木 崇之		
35	15:40~16:10	五日市 実侑	桑 昭苑 白木 伸明	ヒトIPS 細胞肝臓分化誘導系において培地栄養が与える影響	○ 桑 昭苑	白木 伸明	小島 英理	田川 陽一		
36	16:10~16:40	石部 隆之介	桑 昭苑 白木 伸明	吸収腸上皮細胞への分化を促進する低分子化合物の探索	○ 桑 昭苑	白木 伸明	山本 直之	田川 陽一		
37	16:40~17:10	佐藤 敦紀	田川 陽一	ヒトIPS 細胞由来肝細胞を用いたLiver-on-a-Chip モデル、ならびにヒトIPS 細胞由来樹状細胞の分化誘導法の開発	○ 田川 陽一	桑 昭苑	白木 伸明			

1G(物理化学系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
38	9:00~9:30	佐藤 駿太郎	山村 雅幸	多段階の状態遷移で溶液中の核酸組成を識別するDNAコンピューティング反応の最適化	○ 山村 雅幸	清尾 康志	田川 陽一		
39	9:30~10:00	Sirisukhodom Supanut	徳永 万喜洋	Multicolor single-molecule imaging analysis of the phase-separated nucleolar compartments	○ 徳永 万喜洋	山口 雄輝	立花 和則		
40	10:00~10:40	権名 渉	蒲池 利章	ランタノイド結合性メタノールデヒドロゲナーゼの分光分析および非発現株の解析	○ 蒲池 利章	朝倉 則行	福居 俊昭	和地 正明	平沢 敬
41	10:40~11:10	江口 智哉	蒲池 利章	多孔質膜培養CHO DP-12 細胞における抗体産生量と細胞内酸素濃度の解析	○ 蒲池 利章	小島 英理	廣田 順二		
42	11:10~11:40	加藤 創	朝倉 則行	ITO 電極上へのルテニウム - ポルフィリン混合単分子層の構築と光励起電子移動系への応用	○ 朝倉 則行	小島 英理	蒲池 利章		
43	11:40~12:10	桐野 雄貴	朝倉 則行	NADH とポルフィリンを利用した光励起酸化反応電極の構築	○ 朝倉 則行	小島 英理	蒲池 利章		
お昼休み									
44	13:30~14:00	QIAN KAI CHENG	林 宣宏	Development of anti HIV-Nef bispecific antibody for AIDS treatment (エイズ治療のための抗HIV 遺伝子産物Nef 二重特異性抗体の開発)	○ 林 宣宏	長田 俊哉	北口 哲也		
45	14:00~14:30	石橋 克哉	林 宣宏	タンパク質分子針によるエイズ治療用抗体の細胞内への導入	○ 林 宣宏	長田 俊哉	一瀬 宏		
46	14:30~15:00	河口 徳真	林 宣宏	月経周期に伴う運動の効果の違いのプロトオミクスによる説明	○ 林 宣宏	相澤 康則	一瀬 宏		
47	15:00~15:30	清水 晃毅	長田 俊哉	分裂酵母を用いたマウスドーパミン受容体のリガンドアッセイ系の構築	○ 長田 俊哉	林 宣宏	一瀬 宏		
48	15:30~16:10	笹井 香菜子	長田 俊哉	分裂酵母を用いたセロトニン受容体のリガンドアッセイ系の確立	○ 長田 俊哉	林 宣宏	一瀬 宏	蒲池 利章	朝倉 則行
49	16:10~16:50	田中 潤子	長田 俊哉	GPCR 内包を目指した細胞内タンパク質結晶によるハイブリッド結晶の創成	○ 長田 俊哉	上野 隆史	一瀬 宏	蒲池 利章	朝倉 則行
2G(有機化学系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
50	9:00~9:30	青木 蓮	堤 浩 三原 久和	弱酸性pH で応答する蛍光プローブの開発とがん細胞外pH イメージングへの応用	○ 堤 浩	三原 久和	藤枝 俊宣	蒲池 利章	
51	9:30~10:00	道源 恵	堤 浩 三原 久和	タンパク質固定化キャピラリーの調製とファージディスプレイ法と組合せたタンパク質結合ペプチドの探索	○ 堤 浩	三原 久和	小島 英理	門之園 哲哉	
52	10:00~10:30	塩田 隼平	堤 浩 三原 久和	金属イオン応答性自己集合化ペプチドの創製と金属ナノ材料への応用	○ 堤 浩	三原 久和	湯浅 英哉	上野 隆史	
53	10:30~11:00	梶原 圭悟	三原 久和 堤 浩	疎水性残基の異なる両親媒性Xn ペプチドタグの融合によるタンパク質の細胞内集積化	○ 三原 久和	堤 浩	湯浅 英哉	丸山 厚	
54	11:00~11:40	橋本 匡浩	三原 久和 堤 浩	NBD 修飾 α ヘリックスペプチドを提示したファージライブラリによるガレクチン3 検出蛍光バイオセンサーの探索	○ 三原 久和	堤 浩	湯浅 英哉	三重 正和	丸山 厚
55	11:40~12:10	中井 太一	三原 久和 堤 浩	鎖長の異なる両親媒性Yn ペプチドタグの融合によるタンパク質の細胞内集積化	○ 三原 久和	堤 浩	上野 隆史	福居 俊昭	
お昼休み									
56	13:30~14:00	瀬古 健太	三原 久和 堤 浩	Ni(II)-NTA 修飾ファージライブラリの構築とHis タグタンパク質に対するペプチドリガンドの探索	○ 三原 久和	堤 浩	金原 数	門之園 哲哉	
57	14:00~14:40	野村 昌平	丸山 厚	シトルリンポリペプチドを用いた細胞内液-液相分離モデルの構築	○ 丸山 厚	金原 数	石井 佳誉	上野 隆史	堤 浩
58	14:40~15:10	山田 卓祥	丸山 厚	カチオン性高分子-ペプチド複合体による脂質膜透過性制御	○ 丸山 厚	金原 数	石井 佳誉		
59	15:10~15:40	阿部 陽太	丸山 厚	主鎖骨格の異なるカチオン性くし型共重合体のDNA 三重鎖安定化効果	○ 丸山 厚	堤 浩	清尾 康志		
60	15:40~16:10	小林 諒也	丸山 厚	生体適合性側鎖を有するカチオン性グラフト共重合体の合成と機能評価	○ 丸山 厚	堤 浩	糸 昭苑		
3G(生物化学系) 発表なし									
4G(分子生物系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
61	9:30~10:00	渡邊 恵理香	加藤 明	ヒトホウ酸チャネルの同定と海水魚腎集合管における水再吸収機構の解析	○ 加藤 明	二階堂 雅人	一瀬 宏		
62	10:00~10:30	新垣 沙希	加藤 明	難治性疾患クッシング病におけるUSP8-STAM1 複合体の細胞内局在異常	○ 加藤 明	中戸川 仁	中村 信大		
63	10:30~11:00	黒田 彩月	中戸川 仁	選択的オートファジーの新規機能的探索	○ 中戸川 仁	藤田 尚信	岩崎 博史		
64	11:00~11:30	中井 春樹	中戸川 仁	オートファジーがオルガネラ脂質組成に与える影響の解析	○ 中戸川 仁	藤田 尚信	岩崎 博史		
65	11:40~12:20	西川 将太	藤島 皓介	無細胞翻訳系を用いたmRNA ディスプレイ法による新規RNA 結合ペプチドの探索	○ 藤島 皓介	田口 英樹	丸山 厚	相澤 康則	松浦 友亮
お昼休み									
66	13:30~14:00	西森 みき	二階堂 雅人	脊椎動物のフェロモン受容体遺伝子V1R の進化多様性に関する研究	○ 二階堂 雅人	本郷 裕一	立花 和則		
67	14:00~14:30	藤崎 花美	二階堂 雅人	魚類の全ゲノム重複に伴うOMP 遺伝子の進化多様性	○ 二階堂 雅人	本郷 裕一	田中 幹子		
68	14:30~15:00	芦 宣頤	二階堂 雅人	糸鱈類の苦味受容体遺伝子T2R の多様性に関する研究	○ 二階堂 雅人	本郷 裕一	加藤 明		
69	15:00~15:40	木村 優希	二階堂 雅人	硬骨魚類の陸上適応に関する遺伝的基盤の解析	○ 二階堂 雅人	本郷 裕一	加藤 明	立花 和則	増田 真二

1Q(物理化学系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
70	9:00~9:30	田邊 葵	田口 英樹	ORFを拡張するリボソームホッピング現象の普遍性と分子機構	○ 田口 英樹	木村 宏	岩崎 博史		
71	9:30~10:00	原田 樹	田口 英樹	質量分析を用いたタンパク質発現を制御する翻訳後修飾の探索	○ 田口 英樹	木村 宏	藤田 尚信		
72	10:00~10:30	市ノ川 雄介	田口 英樹	低ストレス時における大腸菌シャペロンGroE の役割の解明	○ 田口 英樹	久堀 徹	田中 寛		
73	10:30~11:00	野谷 大樹	上野 隆史	タンパク質ケージを利用した芳香族クラスターの構築	○ 上野 隆史	石井 佳登	堤 浩		
74	11:00~11:40	菊池 幸祐	上野 隆史	タンパク質分子針の動的集合運動設計	○ 上野 隆史	三重 正和	金原 数	田口 英樹	石井 佳登
75	11:40~12:10	白木 沙織	小島 英理 三重 正和	光線力学療法を目的としたリシフェラーゼ提示タンパク質ナノ粒子の構築	○ 小島 英理	三重 正和	小倉 俊一郎	金原 数	
76	12:10~12:40	寺澤 穂高	小島 英理 三重 正和	DNA-タンパク質ハイブリッド分子を利用したプロテインスプライシングに関する研究	○ 小島 英理	三重 正和	朝倉 則行	金原 数	
お昼休み									
77	14:00~14:30	長田 弾	小島 英理 三重 正和	成長因子を内包したタンパク質ナノゲルの特性評価	○ 小島 英理	三重 正和	八波 利恵	朝倉 則行	
78	14:30~15:00	藤原 凌我	小島 英理 三重 正和	骨格筋細胞分化促進を目的としたヒストン脱メチル化酵素タンパク質の細胞内導入	○ 小島 英理	三重 正和	八波 利恵	白木 伸明	
79	15:00~15:30	内川 隆博	三重 正和 小島 英理	神経分化誘導を目的とした機能性細胞マトリックスの構築	○ 三重 正和	小島 英理	蒲池 利章	白木 伸明	
80	15:30~16:00	野嶋 友貴	三重 正和 小島 英理	がん細胞標的能を有するAffibody提示タンパク質ナノ粒子の開発	○ 三重 正和	小島 英理	蒲池 利章	小倉 俊一郎	
81	16:00~16:30	川野 修平	小島 英理 三重 正和	足場材料への応用を目的とした胎盤成長因子由来ヘパリン結合配列の特性評価	○ 小島 英理	三重 正和	上野 隆史	堤 浩	
82	16:30~17:00	柏崎 歩美	三重 正和 小島 英理	低分子薬剤放出制御を目的としたタンパク質ナノゲルの開発	○ 三重 正和	小島 英理	上野 隆史	堤 浩	
2Q(有機化学系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
83	9:00~9:30	清水 友輔	金原 数	リン酸基を有する両親媒性分子の開発と物性評価	○ 金原 数	湯浅 英哉	上野 隆史		
84	9:30~10:00	玉田 浩之	金原 数	構造化された大環状ポリアミド分子の開発	○ 金原 数	堤 浩	秦 猛志		
85	10:00~10:30	佐々木 峻	金原 数	複数刺激応答性膜間イオン輸送を志向した交互両親媒性分子の開発	○ 金原 数	堤 浩	秦 猛志		
86	10:30~11:00	高木 康雄	松田 知子	Baeyer-Villiger 酸化酵素を用いた反応の酵素の再利用による効率化	○ 松田 知子	秦 猛志	八波 利恵		
87	11:00~11:30	小倉 一輝	松田 知子	<i>Geotrichum candidum</i> 由来のアルデヒド脱水素酵素を用いた酸化反応の開発	○ 松田 知子	秦 猛志	堤 浩		
88	11:30~12:00	端池 竜大	松田 知子	高圧二酸化炭素を用いるリバーゼによるエポキシ化反応	○ 松田 知子	秦 猛志	福居 俊昭		
お昼休み									
89	13:30~14:00	上田 悠斗	湯浅 英哉	光免疫制御分子の標的選択性向上を指向した合成研究	○ 湯浅 英哉	清尾 康志	大塚 章寛		
90	14:00~14:30	赤井 恒	清尾 康志	ホスホロアミダイト試薬を用いたピロリン酸化反応を利用した緊縮応答分子ppGpp の化学合成法の開発	○ 清尾 康志	湯浅 英哉	大塚 章寛		
91	14:30~15:00	服部 詩萌里	清尾 康志	5'-デオキシシグマ-ヒドロキシメチルチミンを含むRNase H 依存型アンチセンス核酸の合成	○ 清尾 康志	湯浅 英哉	大塚 章寛		
92	15:00~15:30	宮崎 翔	清尾 康志	2',5'-結合を有するRNA および修飾DNA-タンパク質複合体の分子動力学法を用いた構造解析	○ 清尾 康志	湯浅 英哉	大塚 章寛		
93	15:30~16:00	伊藤 翔	占部 弘和 秦 猛志	テトラゾールの 1,4-ジアリール化によるデグラデーション法の開発と利用	○ 占部 弘和	秦 猛志	中村 浩之	松田 知子	
94	16:00~16:30	中村 南美	秦 猛志 占部 弘和	ポリハロ(アリール)アレーンをテンプレートとする縮環芳香族化合物の簡便合成法の開発	○ 秦 猛志	占部 弘和	中村 浩之	松田 知子	
3Q(生物化学系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
95	9:00~9:30	秋林 早希	福居 俊昭	超好熱菌tRNA 修飾変異株における培養条件依存の高温感受性の解析	○ 福居 俊昭	田中 寛	八波 利恵		
96	9:30~10:00	今井 龍	福居 俊昭	糖質を原料とする共重合ポリヒドロキシアリール酸生成経路の改善	○ 福居 俊昭	平沢 敬	蒲池 利章	祐植 文治	
97	10:00~10:30	井野口 諒太	福居 俊昭	水素細菌への鉄酸化細菌由来電子伝達系の導入と解析	○ 福居 俊昭	和地 正明	朝倉 則行	祐植 文治	
98	10:30~11:00	鈴木 紗絵	増田 真二	葉緑体型緊縮応答におけるCa ²⁺ 依存性ppGpp 合成酵素GRSHの果たす役割	○ 増田 真二	下嶋 美恵	今村 壮輔		
99	11:00~11:30	若松 孝幸	下嶋 美恵 太田 啓之	植物界におけるKODA 生産のための基盤研究	○ 下嶋 美恵	太田 啓之	増田 真二	加藤 明	
100	11:30~12:00	三浦 希	太田 啓之 下嶋 美恵	クラミドモナスのリン酸欠乏応答における制御因子群の解析	○ 太田 啓之	下嶋 美恵	田中 寛	若林 憲一	
お昼休み									
101	13:30~14:00	関根 伸輔	太田 啓之 下嶋 美恵	車軸藻類クレブソルミディウムにおけるリン酸欠乏時の膜脂質転換とその分子機構	○ 太田 啓之	下嶋 美恵	今村 壮輔	中戸川 仁	
102	14:00~14:30	別府 義彬	中村 信大	Adgrf5 欠損による糸球体濾過障壁障害における変動遺伝子の同定とシグナリングに関する解析	○ 中村 信大	太田 啓之	一瀬 宏		
103	14:30~15:00	永沢 佑陽	中村 信大	ヒトとマウスのG タンパク質共役型受容体Adgrf5 のタンパク質発現量に差異を生じさせる分子機構に関する解析	○ 中村 信大	梶川 正樹	中戸川 仁		
104	15:00~15:30	菊地 英一	中村 信大	Syntaxin-6 のユビキチン化を担うユビキチン化酵素の同定とユビキチン化によるSyntaxin-6 の機能への影響に関する解析	○ 中村 信大	梶川 正樹	藤田 尚信		
4Q(分子生物系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
105	9:00~9:40	赤瀬 大地	相澤 康則	ヒト上流ORF 由来タンパク質の細胞内挙動	○ 相澤 康則	鈴木 崇之	林 宣宏	白木 伸明	門之園 哲哉
106	9:40~10:20	堤 洋維	相澤 康則	ヒトX 染色体短腕上での必須ゲノム領域の探索	○ 相澤 康則	鈴木 崇之	梶川 正樹	林 宣宏	廣田 順二
107	10:20~10:50	中根 猛	相澤 康則	ポリグルタミン病疾患モデル細胞作製技術の開発	○ 相澤 康則	廣田 順二	梶川 正樹		
108	10:50~11:20	綿貫 雄介	鈴木 崇之	ショウジョウバエ視神経シナプス可塑性におけるビルドシグナルの探索	○ 鈴木 崇之	相澤 康則	白木 伸明		
109	11:20~12:00	岩永 りく	鈴木 崇之	ショウジョウバエのキノコ体における記憶形成メカニズムの解析	○ 鈴木 崇之	相澤 康則	藤田 尚信	立花 和則	白木 伸明
お昼休み									
110	13:30~14:00	石井 愛莉紗	鈴木 崇之	ショウジョウバエ視覚系におけるシナプス特異性を規定するBeaten Path とSidestep の解析	○ 鈴木 崇之	廣田 順二	増田 真二		
111	14:00~14:30	相澤 亜莉彩	木村 宏	ヒストン修飾H4K20me2 を生細胞で可視化するための遺伝子コード型プローブの開発	○ 木村 宏	岩崎 博史	増田 真二		
112	14:30~15:00	竹之下 眞央子	木村 宏	翻訳後修復可視化プローブによるクロマチンと転写の生細胞イメージング	○ 木村 宏	桑 昭苑	岩崎 博史		
113	15:00~15:30	粕田 健介	廣田 順二	<i>Bell 1b</i> 遺伝子欠損マウスにおける嗅覚行動異常をもたらす神経基盤の解明	○ 廣田 順二	鈴木 崇之	相澤 康則		
114	15:30~16:00	萩原 由佳	廣田 順二	嗅覚を介したフグのフグ毒への誘引機構の解明	○ 廣田 順二	二階堂 雅人	加藤 明		
115	16:30~17:00	北本 颯希	廣田 順二	苦味細胞特異的に発現する転写因子Eya1 の同定及び口腔化学感覚細胞におけるEya1 の発現解析	○ 廣田 順二	桑 昭苑	白木 伸明		
116	17:00~17:40	LIU Yundi	立花 和則	Exploring the early evolution of neurotransmission in the jellyfish <i>Cladonema</i>	○ 立花 和則	白木 伸明	若林 憲一	二階堂 雅人	一瀬 宏

1G(物理化学系) 発表なし									
2G(有機化学系) 発表なし									
3G(生物化学系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
117	9:00~9:30	森泉 遼平	平沢 敬	出芽酵母のエルゴチオネイン生産株の育種と生産性評価	○ 平沢 敬	八波 利恵	蒲池 利章		
118	9:30~10:00	下山田 悠希	平沢 敬	コリネ型細菌 <i>Corynebacterium glutamicum</i> によるエルゴチオネインの生産に関する研究	○ 平沢 敬	福居 俊昭	蒲池 利章		
119	10:00~10:30	曾根 政人	平沢 敬	有用物質生産に向けた出芽酵母のグリセロール資化能向上に関する研究	○ 平沢 敬	福居 俊昭	三重 正和		
120	10:30~11:10	立川 千生	平沢 敬	芳香族化合物生産に向けた実験室進化によるコリネ型細菌のアミノ酸アナログ耐性株の取得	○ 平沢 敬	山本 直之	三重 正和	和地 正明	八波 利恵
121	11:10~11:40	荒武 拓海	小倉 俊一郎	アミノレブリン酸及び鉄添加がナチュラルキラー細胞に与える影響	○ 小倉 俊一郎	和地 正明	三重 正和		
122	11:40~12:10	河西 萌	小倉 俊一郎	高密度培養条件下におけるがん細胞の形質	○ 小倉 俊一郎	中村 浩之	三浦 裕		
お昼休み									
123	13:30~14:00	辻山 光	小倉 俊一郎	3T3-L1 細胞の分化過程及び脂肪代謝に対するアミノレブリン酸の添加効果	○ 小倉 俊一郎	小島 英理	堤 浩		
124	14:00~14:30	中原 健悟	小倉 俊一郎	ヘムオキシゲナーゼ1 の制御がアミノレブリン酸を用いた光線力学治療に与える効果	○ 小倉 俊一郎	西山 伸宏	藤枝 俊宣		
125	14:30~15:00	大井 玲央奈	和地 正明	コリネ型細菌のグルタミン酸排出チャネルの細胞内局在の解析	○ 和地 正明	平沢 敬	八波 利恵		
126	15:00~15:30	室伏 佑香	和地 正明	大腸菌を用いたボルフィリン排出ポンプの解析	○ 和地 正明	田中 寛	小倉 俊一郎		
127	15:30~16:00	丘山 春奈	和地 正明	ジベチドによる大腸菌の増殖抑制機構の解析	○ 和地 正明	田中 寛	福居 俊昭		
128	16:00~16:40	川口 潤	和地 正明	抗生物質アラマイシン合成酵素と5-アミノレブリン酸合成酵素の進化的関連性	○ 和地 正明	田中 寛	福居 俊昭	伊藤 武彦	本郷 裕一
4G(分子生物系)									
演題番号	時間	学生氏名	指導教員	論文題目	論文審査員				
129	9:00~9:30	川村 勇樹	梶川 正樹	ゼブラフィッシュ生体内で新規転移したLINE 配列のメチル化解析	○ 梶川 正樹	相澤 康則	中村 信大		
130	9:30~10:00	齋藤 悠太郎	梶川 正樹	LINE の転移に関わる宿主タンパク質に関する研究	○ 梶川 正樹	本郷 裕一	木村 宏		
131	10:00~10:30	大森 樹生	本郷 裕一	イエンロアリ腸内原生物細胞内共生メタン生成アーキアのゲノム解析	○ 本郷 裕一	二階堂 雅人	山田 拓司		
132	10:30~11:00	工藤 凜平	本郷 裕一	キゴキブリ腸内木質分解性原生物に細胞共生する細菌の群集構造及び局在の解析	○ 本郷 裕一	二階堂 雅人	増田 真二		
133	11:00~11:30	水谷 学	本郷 裕一	シロアリ腸内原生物細胞内共生Alphaproteobacteriaの比較ゲノム解析	○ 本郷 裕一	二階堂 雅人	増田 真二		